

「今後の防犯対策」についてのアンケート集計結果

調査時期：平成20年9月

対象者：県政モニター

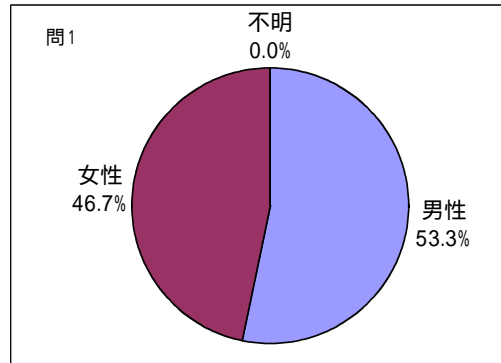
回答数：167人（回収率83.5%）

担当課：県民活動課

調査目的：滋賀県では、大型商業施設の開業が相次ぐなどの社会環境の変化に対応するため、新たに防犯指針の策定について検討を進めています。つきましては、防犯対策について県民の皆さんがどのような意識を持っておられるか教えていただき、今後検討を行う際に役立てるため、今回のアンケートを実施しました。

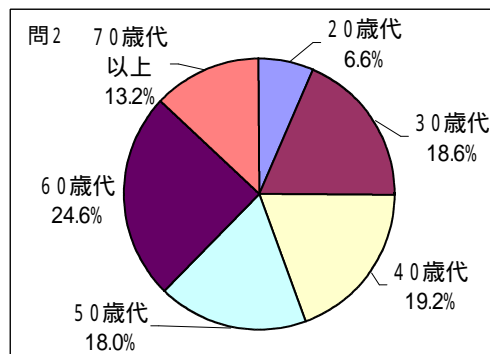
問1 あなたの性別を教えてください。

区分	人数	割合
男性	89人	53.3%
女性	78人	46.7%
不明	0人	0.0%
計	167人	100.0%



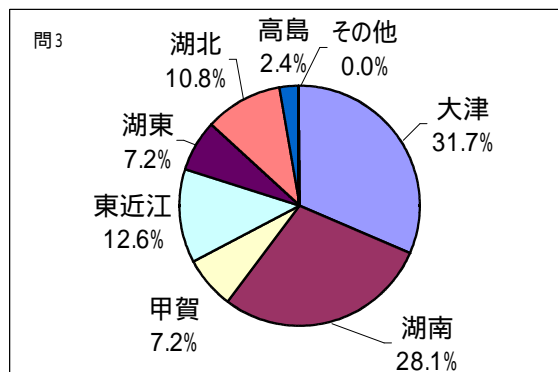
問2 あなたの年齢を教えてください。

区分	人数	割合
20歳代	11人	6.6%
30歳代	31人	18.6%
40歳代	32人	19.2%
50歳代	30人	18.0%
60歳代	41人	24.6%
70歳代以上	22人	13.2%
計	167人	100.0%



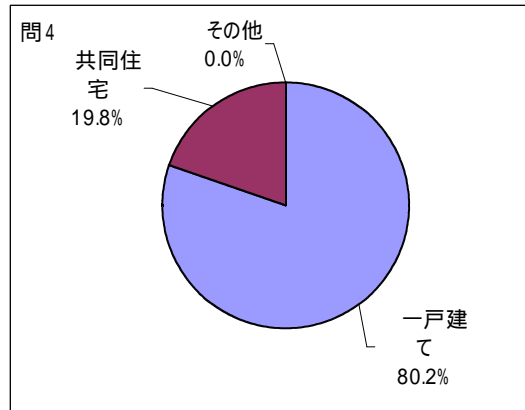
問3 あなたのお住まいの地域を教えてください。

区分	人数	割合
大津	53人	31.7%
湖南	47人	28.1%
甲賀	12人	7.2%
東近江	21人	12.6%
湖東	12人	7.2%
湖北	18人	10.8%
高島	4人	2.4%
その他	0人	0.0%
計	167人	100.0%



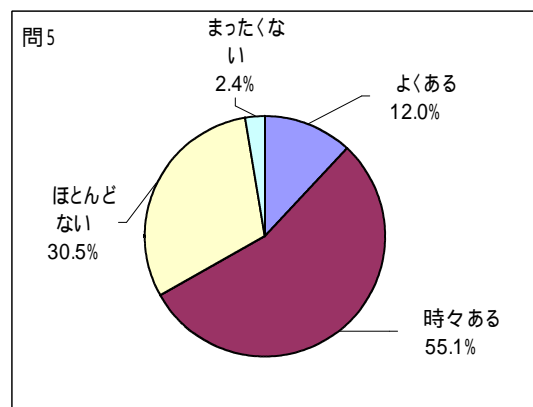
問4 あなたのご自宅の形態について教えてください。

区 分	人数	割合
一戸建て	134人	80.2%
共同住宅	33人	19.8%
その他	0人	0.0%
計	167人	100.0%



問5 あなたは日常生活において、何らかの犯罪の被害に遭うのではないかと不安を感じることはありますか。(は1つだけ)

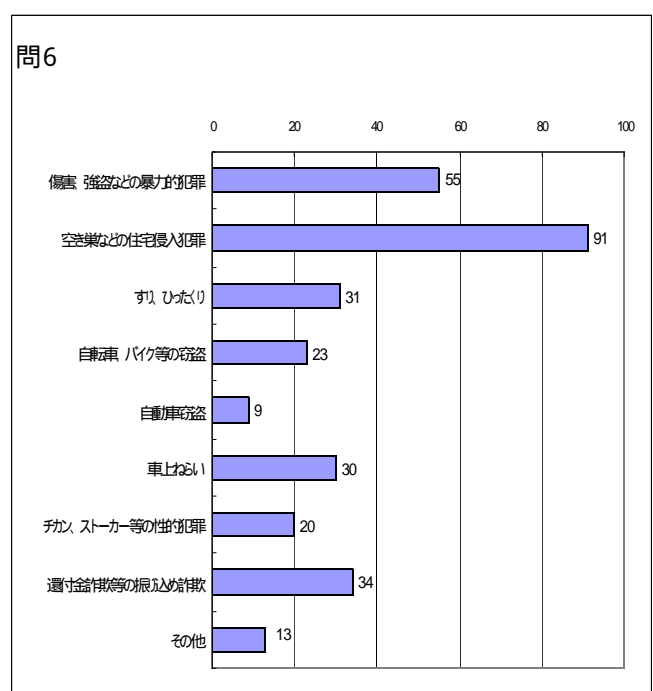
区 分	人数	割合
よくある	20人	12.0%
時々ある	92人	55.1%
ほとんどない	51人	30.5%
まったくない	4人	2.4%
計	167人	100.0%



問6 どのような種類の犯罪に遭うと不安を感じておられますか。(は3つまで)

区 分	人数	割合
傷害、強盗などの暴力的犯罪	55人	32.9%
空き巣などの住宅侵入犯罪	91人	54.5%
すり、ひったくり	31人	18.6%
自転車、バイク等の窃盗	23人	13.8%
自動車窃盗	9人	5.4%
車上ねらい	30人	18.0%
チカン、ストーカー等の性的犯罪	20人	12.0%
還付金詐欺等の振り込め詐欺	34人	20.4%
その他	13人	7.8%
計	251人	183%

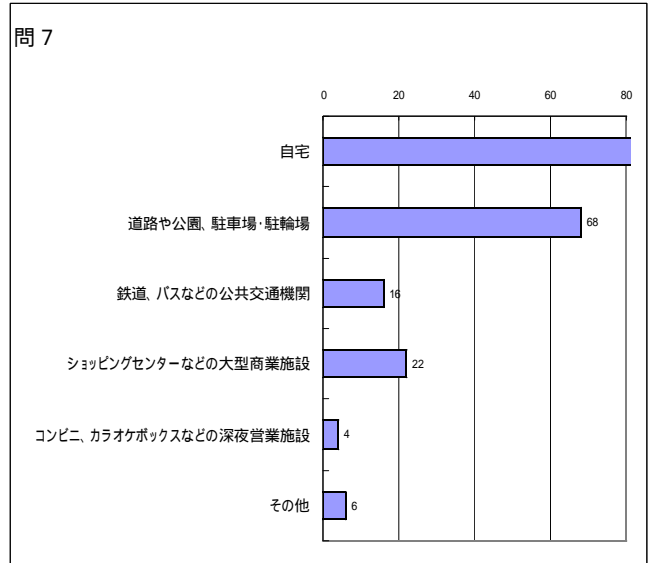
- その他の内容：
- ・ 放火などの火に関する犯罪
 - ・ 野菜、果物など自作物の盗難
 - ・ 住宅、マンションの建築現場での盗難
 - ・ 小さい女の子への犯罪
 - ・ 置き引き、子ども誘拐等



問7 どのような場所で被害に遭う可能性があると感じておられますか。(は2つまで)

区 分	人数	割合
自宅	82人	49.1%
道路や公園、駐車場・駐輪場	68人	40.7%
鉄道、バスなどの公共交通機関	16人	9.6%
ショッピングセンターなどの大型商業施設	22人	13.2%
コンビニ、カラオケボックスなどの深夜営業施設	4人	2.4%
その他	6人	3.6%
計	116人	119%

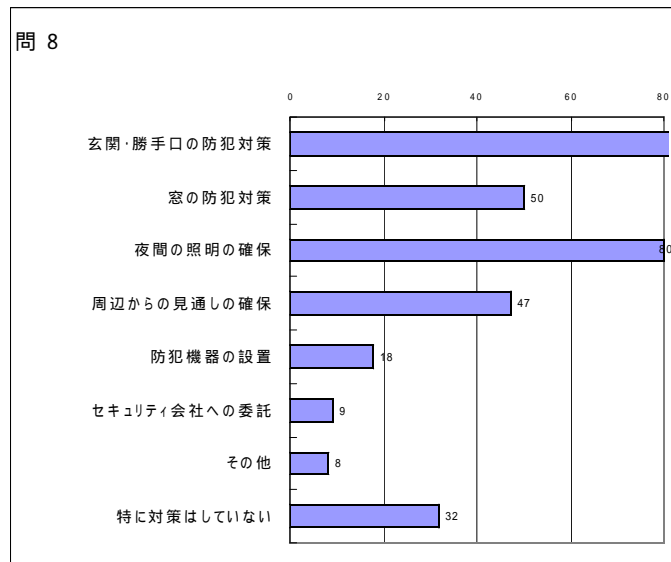
その他の内容：
 ・ 深夜の路上
 ・ 建築現場、ガレージ
 ・ インターネットショッピング
 ・ 夜道で暗いところ、人通りがないところ



問8 自宅の防犯対策として取り組まれている内容について教えてください。

区 分	人数	割合
玄関・勝手口の防犯対策	86人	51.5%
窓の防犯対策	50人	29.9%
夜間の照明の確保	80人	47.9%
周辺からの見通しの確保	47人	28.1%
防犯機器の設置	18人	10.8%
セキュリティ会社への委託	9人	5.4%
その他	8人	4.8%
特に対策はしていない	32人	19.2%
計	244人	198%

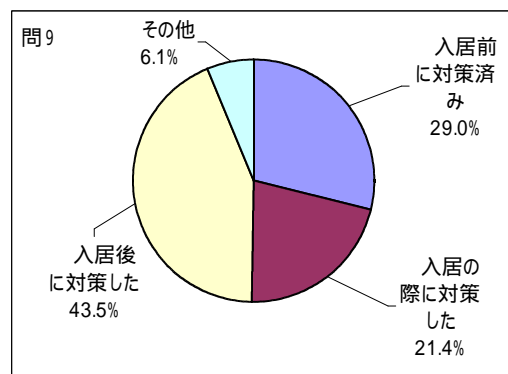
その他の内容：
 ・ ラジオ,TVをつけておく
 ・ ご近所で声を掛け合う
 ・ 家の周囲に砂利を敷く
 ・ 番犬
 ・ 町内での取組



問9 問8で「対策をしている」と回答した方にお聞きします。防犯対策をされた理由や経緯について教えてください。

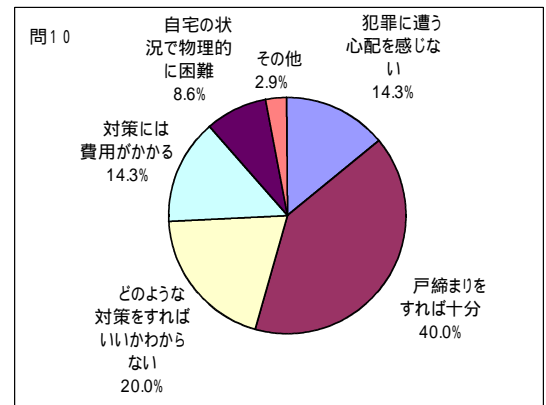
区 分	人数	割合
入居前に対策済み	38人	29.0%
入居の際に対策した	28人	21.4%
入居後に対策した	57人	43.5%
その他	8人	6.1%
計	131人	100.0%

その他の内容：
 ・ 入居後、全体で対策が講じられた。(インターホン)
 ・ 新築は防犯ベル、高齢になってセンサーライト、最近警備会社に委託。
 ・ 夜に帰宅する家族のために
 ・ 常々見通しのよい家ほど安全との思い。
 ・ 近所との交流 やコミュニケーションがよい



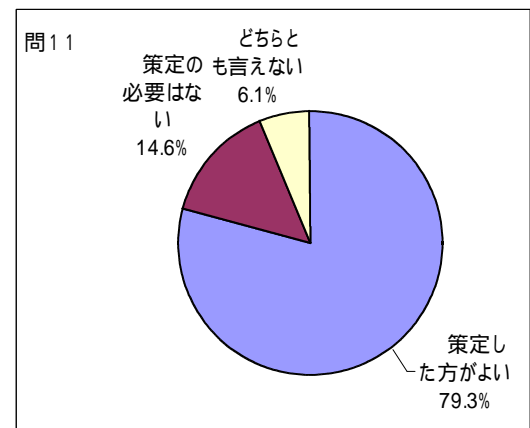
問10 問8で「特に対策をしていない」と回答した方にお聞きします。自宅の防犯対策をされていない理由について教えてください。

区 分	人数	割合
犯罪に遭う心配を感じない	5人	14.3%
戸締まりをすれば十分	14人	40.0%
どのような対策をすればいいかわからない	7人	20.0%
対策には費用がかかる	5人	14.3%
自宅の状況で物理的に困難	3人	8.6%
その他	1人	2.9%
計	35人	100.0%



問11 一戸建て住宅の防犯指針の必要性についてどのようにおもわれますか。

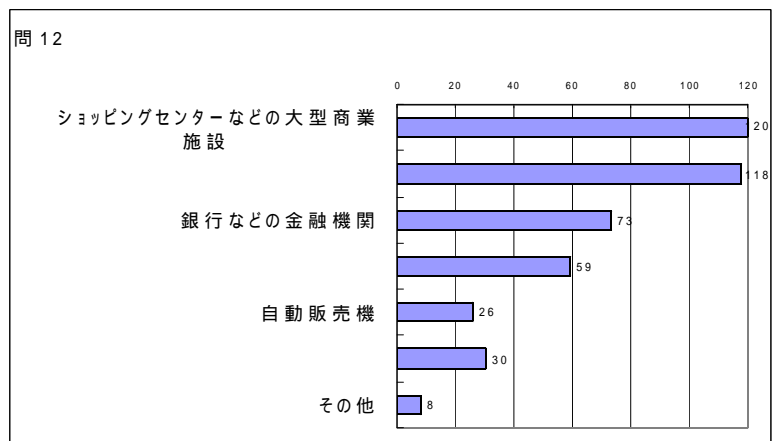
区 分	人数	割合
策定した方がよい	130人	79.3%
策定の必要はない	24人	14.6%
どちらとも言えない	10人	6.1%
計	164人	100.0%



問12 防犯指針の対象とした方がよいと思われる施設について教えてください（3つまで）

区 分	人数	割合
ショッピングセンターなどの大型商業施設	120人	71.9%
コンビニ、カラオケボックスなどの深夜営業施設	118人	70.7%
銀行などの金融機関	73人	43.7%
パチンコ店、ゲームセンターなどの風俗営業施設	59人	35.3%
自動販売機	26人	15.6%
観光施設	30人	18.0%
その他	8人	4.8%
計	434人	260%

その他の内容：
 ・ 駅やバスセンターなど
 ・ 病院、お寺
 ・ 図書館、文化ゾーン



安全なまちづくり施策に関してのご意見等（主なもの）

防犯灯や防犯カメラ等の設置や道路整備等

- ・ 防犯灯や街灯をもっと設置して欲しい
- ・ 幹線道路以外の裏道への防犯灯等の設置
- ・ もっと明るい防犯灯の設置
- ・ 住宅街での一軒一灯点灯運動
- ・ 繁華街や人通りの少ない箇所への防犯カメラの設置
- ・ 監視カメラ設置による犯罪抑止
- ・ ボタン式警報装置の設置
- ・ 各種犯罪抑止のための道路拡張（歩車分離）や死角軽減のための街路樹の整備

地域における取組等

- ・ 自分の住む小さな地域から安全なまちづくりに取り組むべきである。
- ・ 住民の地域ごとのつながりやコミュニケーションを深めることで協働し合い安全なまちづくりができると思う。
- ・ 各自が各地域における防犯意識を向上させる。
- ・ 昔の隣組のような組織、ご近所づきあいが大切だと思う。
- ・ 地域住民で取り組むべきことがあれば積極的に推進してほしい。
- ・ 路上駐車やゴミのポイ捨て、路上での喫煙マナーに関わる施策を強化し、防犯に生かしてほしい。
- ・ 青少年の犯罪が増加しており、親の無責任さが主な原因と考えられるので、親も同罪にすれば良いのではないかと。（何事も真剣に取り組む姿を見せる）
- ・ 治安悪化の現代では、自宅は自分で防犯対策をして守り、公共施設や大型店舗は、行政の指導と警察官の立ち寄り巡回等が重要だと思う。

警察に対する要望や規制等

- ・ パチンコ店やゲームセンターへの警察や学校教員等の巡回を実施し、不良化への早期取締りによる犯罪の未然防止。
- ・ 警察官のパトロールや取り締まりによる犯罪抑止活動。
- ・ 新興住宅街に交番等が無く、防犯面での対応が遅れている。
- ・ コンビニ等深夜営業の規制や青少年の深夜外出への規制、取締りを行い犯罪を防止し、青少年の健全な育成、教育に心血を注いでほしい。

情報提供や防犯指導・研修等

- ・ 地域での取組や目覚ましく活躍している地域を県のホームページ等で公表する。
- ・ タイムリーな犯罪情報や予防対策、その他注意喚起のための情報を広く提供してほしい。
- ・ 防犯カメラ等防犯グッズの紹介をしてもらえるとありがたい。
- ・ 地域の防犯意識を高める運動や自治会単位での防犯対応指導が大切である。
- ・ 来日外国人に対し職場を通じた人権啓発研修を実施してほしい。
- ・ 安全なまちづくりには個人の意識向上が必要。マナーを守ることの大切さ、善悪の認識等幼児期からの倫理観の育成が必要だ。

その他

- ・ 子どもが通う小学校で防犯の話があったり、危険な場所などが聞かれるが、何も改善されていないと感じる。小学校や通学路で何時犯罪が起きてもおかしくなく、いつも不安を感じている
- ・ お祭りなどのイベントでの犯罪が怖い。
- ・ 施策を実施しようとする場合「プライバシー」が障害となることが予想される。マンション、賃貸住宅の増加、外国籍の方々の増加等住環境の変化も合わせ、旧来からの考え方を改める必要性を痛感する。
- ・ 防犯指針もいいことだとは思いますが、本来そんなことをしなくてもいい社会になってほしい。
- ・ 犯罪は、各個人が少し気を付けて家や乗り物に鍵をかければ減少するはず。近年人間関係が希薄になっているだけに特に犯罪のない安全なまちづくりのために“4つのかける”運動を強力に推進していく必要がある。
- ・ 空き地などで雑草が生い茂ると防犯上問題があるので、土地管理者はしっかりと管理してほしい。
- ・ 市町村の代表と行政、警察との日常連絡会を開催するシステムづくりが必要だと思う。